

# 天地

ネットワークテーブル 520号

天地シニアネットワーク 2021. 6. 16

TENTI TO DAY (振り込め詐欺の電話)(紹介本)			1
会員の広場			2
随 想	「寛ちゃん先生」、定年後に知った心豊かなドラマ	橘 寛治	2
英語研究	英会話の楽しみ(18) 18. よく使われる言い回し	伊那 闊歩	4
インド論	インドのカースト制度を考える(下)	佐川 雄一	9
中国人の日本語勉強	中国人から見た日本人の言語表現理(25) 語気を和らげる工夫とその心理(1)	俞 彭 年	12
随 想	小金井市の散歩事情 —その3—	臺 一郎	13
回 顧	国立慕情(3)	津田 孚人	16
事務局			18

\*\*\*\*\*

## TENTI TODAY

\*\*\*\*\*

コロナ禍ということで外出が減り、運動不足に陥って体調がすっきりしません。気軽に病院へも行けないので、自己調整に努めざるを得ませんが、元気な90歳台の方も大勢おられますので、見習いたいと思っています。

\*\*\*\*\*

### 「振り込め詐欺の電話」

4-5日前の午後、市役所の健康保険課ですと中年男性からの電話がありました、「3月に送付した申請書の返事が届いていない、5月15日の期限が過ぎたので、払い戻しができない」との話でした。瞬間、そういえば、市役所から書類がきていたような気がして探してから市役所に電話しますと返事すると、奇妙な説明が始まりました。

手続きしない人には、国から直接銀行を通じて支払われる。銀行の本店から電話が行く、そのあと支店から連絡が行くので、通帳と印鑑とキャッシュカードを用意しておいてくださいと、一気にまくしたててきました。

<こちらから市役所に電話する>と言った時の対応が不自然だったので、「詐欺電話」と気づきましたが、相手もこちらが気づいていると知りながらも切りません。通帳、印鑑、キャッシュカードが出たところで止めましたが、最後は脅迫まがいの口調でした。すぐに市役所の防犯係に報告、しばらくして警察の駐在所のお巡りさんが確認に来ま

したが、夕方駅前で聞いた注意を喚起するミニパトカーのアナウンスは、一段と高く聞こえました。

\*\*\*\*\*

#### 紹介本

●橘寛治さんから「聖路加の斎藤さんの子息・幸平君が『人新世の「資本論』』という本を出した』と昨年11月ごろに勧められ買い求めた。その時、すでにベストテン入りしていましたが、最近ではベストセラーになっている。テレビにも出るなど、人気ようですが、政治、経済、社会に行きつまりを感じる人が読むと、頭のもやもやがすっきりします。（「人新世の「資本論」、大阪市立大学准教授・斎藤幸平著、集英社新書・@1020円）」

●大学同期で春日井市に住む福留さんから、「妻たちのプロレス」（河出書房新社）というご子息が著者の本を送っていただきました。「力道山」「高山善廣」「剛竜馬」「葛西純」「藤波辰爾」「ジャイアント馬場」が登場しますが、「力道山」「ジャイアント馬場」しか知らない。「力道山」のイメージが妻の側から見ると大きく変わります。プロレス好きな方はもちろん、世の中、裏を見るのが好きな方、必見です・・・？。  
（@1600円）

\*\*\*\*\*

前から声がありましたが、今月から会員の広場に掲載する寄稿文、作者名に年齢を付け加えることにしました。

\*\*\*\*\*

## 会員の広場

“寛ちゃん先生”、定年後に知った、心豊かなドラマ

橘 寛治(77歳)

ドラマのきっかけは、このような事です。

故郷の福岡県久留米市で産科婦人科宮原クリニックの院長をしている中学以来の親友の宮原君ご夫婦は、私が日本有数のホテルチェーンの営業を派手に全国で展開していたのを知っている。数年前、馴染みのすし屋「銀貨一枚」で会食したときに、「定年後、園児280名もいる柏市内の幼稚園で園庭の掃除を週3日、午前中だけやっている。園児との交流がとっても楽しい」と言ったところ、彼は咄嗟に「園児と別れるときはハイタッチがいいよ・・・」と助言してくれたのです。

彼の「診察には子供連れのお母さんも多数おられて、診察後の別れ際には、ハイタッチ！と言ってバイバイしているよ・・園児には受けると思うよ・・」と言う助言を幼稚園に持ち帰り、私は早速4人の女性園児と1人の男性園児とハイタッチを始めた。

幼稚園には、ハイタッチの習慣は無かったのですが、ハイタッチを進めると、ハイタッチを交わした園児の一人は、前に進み出て来て、「有難うございました」と言いました。こんなに感謝される覚えもないのに、と言う爽やかな驚きとともに、何処か両親の躰の良さをも知りました。一寸離れた所にいた男児も、仲間に入りたいたい様子だったので、その子もハイタッチに誘いました。その子は大変喜び、そのシーンは印象的で「寛ちゃん先生」も嬉しかった。まさに親友、宮原君の言う通りだと実感しました。

「寛ちゃん先生」は、作業中は軍手を使用していました。実は、寛ちゃん先生は薬指と小指が曲がりっぱなしの糖尿病患者に多い「バネ指」だったのです。園児の中の一人、カイト君が、「寛ちゃん先生」の右手の薬指と小指の軍手の部分が折れて見えないうのに気づいたのです。

『「寛ちゃん先生」は、ハイタッチの時、何故チョコキしか出さないの？』と言い始めました。確かにそう見えるのです。ドキッとさせられたのも束の間でしたが、ある時、彼は、両手で強引に軍手を剥がし、チョコキしか出さない理由を確認しました。作業には影響がないので幼稚園にも隠し続けていたのですが……。その後の彼とのハイタッチは、「寛ちゃん先生」と同じ様に、薬指と小指を曲げてのチョコキのハイタッチに変わりました。

聖アンデレ教会の笹森田鶴司祭に、この経緯を話をしました。即座に「それは、橘さんを茶化しているのではなく、尊敬しているということです。」と言う思いがけない返事が戻ってきて、改めて心にジーンとききました。

現役時代では、営業という立場上、数字で表され評価され、それで物理的に満足していました。それでは感じられない、純粹に心の通った感動を、初めて覚えました。とても有難い経験でした。カイト君は、定年後の「寛ちゃん先生」に新しい方向性を与えてくれたのです。

卒園近くの2月に入り、一人で作業している所に、カイト君が手伝いに現れたので、『「寛ちゃん先生」はカイト君と会えて楽しかったよ！』と言うと、さっさと仲間の園児の群れに消えていきました。

卒園式の前日、今日が最後と言う日は朝から快晴でした。カイト君達5～6人も、今日は最後と言う意識で遊んでいるように見えました。そんな時、園児の群れから離れてカイト君は、『「寛ちゃん先生」僕も楽しかったよ！』と言いにはわざわざ来ました。とて

も嬉しい出来事でした。ハイタッチで別れましたが、矢張りいつもと同じチョキでした。心に残るシーンです。

卒園した年の4月中頃に『「寛ちゃん先生」ですか?』と30歳半ばの健康そうな美しい女性が、カイト君を連れて作業中の私の目の前に突然現れました。そして「私がこの子の母親です」と言われ、感謝の言葉を残して帰りました。

この時の様子を「互いに息が詰まり、意識し過ぎて園児だった頃のように、喋れなかった」と久留米市の宮原医師の奥さんに話すと、「まるで初恋の人に会った時みたい!」、「その子はお母さんにちゃんと幼稚園での出来ごとを話していたのですね。お母さんも立派ですよ!」と、感想を述べてくれました。

カイト君は、今年から中学生一年生。野球が大好きで、シニアリーグに属し、野球と勉強に励んでいるという事です。「フレイフレイカイト」と思っただけです。

仕事のある日は、朝5時に起きて、7時半から11時半迄の4時間勤務致。園庭は大きな樹木と季節の花々に囲まれて広く、この勤務が適度な運動です。帰宅して昼食、そしてぐっすり昼寝です。

園児達との仕事中の会話では、大人同士では考えもつかない世界が発生、これがとても「楽しい」。「若さ」と「元気」を、時としては「感動」も貰いました。

現役の頃では、「対予算、対予算」で...それは仕方のない事でしたが、定年後の私の「老後ドラマ」は「心豊かなドラマ」となりました。

2021年6月8日

\*\*\*\*\*

## 英会話の楽しみ

伊那 闊歩 (83歳)

### 18. よく使われる言い回し

#### 1. What と How

今回は英会話によく現れるいくつかの単語に着目し、その単語を含んで日常よく使われる構文や言い回しについて調べようと思う。今回は **what** と **how**。これらの単語は相手にある事について訊ねるとか逆に質問を受けるような場合に、必ずと言ってよいほどよくつかわれる。

次の文章は Kazuo Ishiguro: **KLARA and THE SUN** から、病弱な少女ジョジーを家に残して、ジョジーの親友 (AF) クララがジョジーの母親と二人だけで滝を見に行く場面でのやり取りで、母親がクララに質問するところから;

“What did Josie tell you about this place?” “She said it was beautiful and she’d always enjoyed very much her trips here with you. “That’s what she said? And did she tell you how we always came here with Sal? How much Sal loved it here?”

「この場所のことはジョジーから何か聞いている？」 「とってもきれいな場所、とだけ。奥様とここへ来るのが、いつもとても楽しかったそうです。」  
「そう言ったの？いつもサリーと一緒にきていたことも話したかしら。サリーの大的お気に入りの場所だったことも？」(土屋政雄 訳)

これだけの会話で、what が2回、how も2回使われている。なお、ここでサリーはジョジーの早逝した姉のことである。

## 2. What

冒頭の Kazuo Ishiguro の文章で、最初に出てくる What は疑問代名詞とよばれ、「何？」「何を？」を意味することは言うまでもない。これは日常会話では 次のように使われる：

What’s this? It’s a pen. (これは何？ ペンです。[オウム返しに This is a pen. と言わない]) What do you do in your free time? (暇な時には何をしていますか) What does your father do? He is a civil engineer. (君のお父さんは何をしていますか？土木技師です。[職業をきく言い方]) なお、What is he? といえば彼の職業を訊いていることになるのだ。  
What can I do for you? (=May / can I help you?)  
(いらっしやいませ。何いたしましょうか?)

海外に留学した時などに初対面の人からもっともよく訊かれるのは

What is your major? (ご専攻は何ですか?) What do you study at university? (大学では何を勉強しますか) What are you majoring in? (ご専攻は何ですか?) What did you major in at university? (大学では何を専攻しましたか)

米英の映画や TV 番組で出演者がさかんに使い、よく聞こえてくるのは 次の言い回しである：

What do you think? (きみどう思う) What do you think of that? (それについてどう思いますか?) What do you think about that? (それ [に関することすべて] についてどう思いますか?)

ここで注意すべきことは、What のかわりに How と言ってしまうこと、 ×How do you think?×とは決して言わない、How を使う場合は

**How do you feel about that? (それについてどう思いますか?)**

としなければならない。of / about that の部分に文章が来ることもしばしばで

**What do you think this flower is? (この花は何だと思えますか?)**

となる。これは **What is this flower?** に **do you think** を挿入した形であるが、その際には主語と動詞の順序が逆転することにくれぐれも注意していただきたい！ また、**When did he meet her?** (かれは彼女にいつ会ったのだろうか?) という文章に **do you think** を挿入する時には

**When do you think he met her?**

(いつかれは彼女に会ったと思えますか?)

となる。注意ばかりしてはきりが無いが、もうひとつ！ 「お国の首都はどこにありますか」と訊く場合、つい × **Where is the capital city of your country?** × (×は誤った語法をあらわす)と訊いてしまうのではなかろうか。しかしここは **where** ではなく **what** を使って

**What is the capital of your country?**

と訊くのが正しいのだ。

上掲「クララとお日さま」からの文章で、続いて出てくる **what** は関係代名詞で、たとえば

**That's precisely what I meant to say. (それが正に私の言いたいことです)**

**What I said is true. (私の言ったことは正しい)**

**Do you know what you've done? ([喧嘩腰に]あなた何をしたのかわかってるの) などいろいろな形で出てくる。ところで**

**I could hardly understand what he wanted to do. (かれのやりたいことが殆ど理解できなかった) (「英和中辞典」旺文社)を「彼が何をやりたいのかほとんどわからなかった」と訳したとすれば、意味はまったく同じであるのに、文法的には(訳者は)前者は関係代名詞、後者は疑問代名詞として訳していることになる。しかし、あまり文法的に細かく分類することは物事を複雑にして得るところはないと思われる。**

what が目的語になっている時には、それに付く前置詞は文の最後にくる。

**What is she like? (= What sort of woman is she?)** (彼女はどんな女性ですか) **What is your French teacher like?** (フランス語の先生はどんな人ですか) **What is it like working in the spacecraft?** (宇宙船で働くのはどんな感じですか) **What kind of music are you into?** (どんな音楽にハマっているのですか)

What は古くからある便利な単語なので、いろんなニュアンスを含んでカジュアル(カジュアル: 普段着の、くだけた)につかわれる:

**What?** (えッ?) **Mr, what?** (なんというお名前ですって? [名前を訊き返すとき]) **What, ho!** (やあ、おいおい、おーい) **A fine morning, what?** (いい朝ねえ)  
**What! Do you really mean it?** (おい、それ本気で言ってるの) **What's up?** (どうしたの? どうしてる? 元気?) **What's the matter (with you)?** (どうしたのですか?) **What's wrong?** (なにかあったの? [開き直って]なにが悪い?) **What's wrong with your car?** (車のどこか調子悪い?) **What about it?** (それがどうした?) **What about going to see a movie?** (映画を見にいきませんか?) **What an amazing view!** (なんというすばらしい景色か) **What a spread!** (すごいご馳走だ) **What a nice house you have!** (なんという立派な家をお持ちのことか) **What if it rains?** (雨が降ったらどうしますか) **What if we meet on Wednesday?** (水曜日に会うのはどうですか) **What if I fail?** (失敗が何だって言うんだ)

知人が死去した場合、どうしたんだろう。こういう場合、ネイティブは **×Why did he die?×** という聞き方はしないらしい。SF の詩人レイ・ブラッドベリの「火星年代記」の中には次のような1節がある:

**“What did they die of?” Spender moved forward. “You won’t believe it.”**  
**“What killed them?” Hathaway said simply “Chicken pox.” “My God, no!”**  
**“Yes, I made tests. Chicken pox.”**

「なんで死んだのだろう?」とスペンダーは身を乗り出した。「言っても信じないでしょう」「死んだ原因は?」ハザウエイはあっさり言った。「水疱瘡です」「まさか!」いいえ、テストをしてみました。水疱瘡です」(小笠原豊樹 訳)

### 3. How

筆者が英語を習い始めた時、初対面の人には **How do you do?** (はじめまして)、顔見知りの人にその日はじめて会ったときには **How are you?** (ご機嫌いかが) と

挨拶すると教わった。英国系のテレビドラマ、たとえば「ポワロ」や「シャーロック・ホームズ」などを見るかぎりこの原則は今も正しいと思われるが、米国では(世界中で)いまや Nice to meet you. (はじめまして)が一般的であり、さらに How are you? (はじめまして)も初対面の挨拶としてよく使われるようだ。朝の挨拶は重要だ。顔見知りの場合通常次のような会話がかかわされる: “How are you?” “Fine Thank you, How are **YOU**?” “Fine thanks.”

ここで大きく書いた単語は発音を強調する部分であることに注意されたい。このような簡単な挨拶でも、ネイティブのイントネーションをよく聞いて喋って、頭ではなく身にしみこませなくてはならない。How are you? の部分は、同じ意味でこのほかに

How are you doing? How's everything? How is it going? How have you been? などと言う。Fine Thank you のかわりに

Fine Thanks. (親しい間柄では、これが普通。Fine と必ず言う) Pretty good. (かなりいいです) I'm OK. (調子いいです) Not too bad. (まあまあです) Not so good / well. (それほど良くないです) Not so well. I have a headache. (あまり良くないです。頭痛くて) などと臨機応変に返答すれば良いのだが、これだけの事でも場数を踏まないとなかなかすんなり言葉が出て来ないことがある。つづいて天気の話になって

良い天気ならば: Nice ( beautiful / wonderful ) day, isn't it? 天気が悪ければ: Miserable day, isn't it? (Bad day とは言わない) 大雨の時など : How about this weather? It looks like it will never stop raining. (この天気はいつたい何だろうね。一向に雨が止む気配がないよ) などと言う。How / What about は、その後に動名詞 (-ing 型)がついて How about eating out this evening? (今晚外食するのはどうですか) How about taking a bath? (風呂に入ったらどうですか) How about having a rest? (一休みしたらどう)

など生活のすべての場面で気軽に便利につかえる。「どう思う?」という How do you like it. (それどう思う?)もよく聞く言い回しで “How did you like the video game?” “Oh, it was exciting, I liked it very much.” 「テレビゲームは如何でしたか」「とても面白くて気に入ったよ」

What と同じく How も「なんと!」という意味で感嘆文に盛んに使われ:



How tall he is!(かれはなんて背が高いんだろう!)これを主語述語逆転して  
How tall is he? (かれの背丈はどれくらいあるの?) となればこれは単なる疑問文  
になる。

どうして?(Why~?)という意味で How come ~? という聞き方があり米国でさ  
かんに使われている。How come? (どういふこと?なぜ?) という意味で単独につ  
かわれることも多い。軽い気持ちで聞くときにたとえば How come you didn't  
finish your work earlier? (なぜもっと早く仕事をすませられなかった  
の?) How come you came so late? ([少し非難がましく]どうしてこんなに遅く  
きたの)

というように便利な言い回しなのではあるが、英国系の辞書にはこの用法が書かれ  
ていないものもあり、まだ米国方言といったものであろうか

\*\*\*\*\*

2021 年 5 月 10 日

インドのカースト制度を考える (2)

佐川雄一(83歳)

#### 4. 独立後のカースト制度の抜本的改革:

1947 年 8 月 17 日、長い英国支配から解放されてインドは独立を果たします。それか  
ら 2 年半、憲法制定委員会で喧々諤々の議論を経てインド憲法が制定され国会で批  
准(1950 年 1 月)されます。全体で 347 条、世界一長い憲法ですがこの中で、アウト・  
カーストである“アンタッチアブル・不可触賤民”の呼称を禁止、すべての市民が憲  
法上平等になりました。

現在、アウト・カーストは“指定カースト”、“指定部族”と呼ばれています。

指定カースト・指定部族への差別廃止と彼らの政治・経済・社会参加を促すために、  
インド政府は独立後、ドラスティックな改革に乗り出します。改革の代表例:国公立大  
学への入学枠、中央省庁・公的機関の採用枠について述べます。

#### ● 国公立大学への指定カーストと指定部族の入学枠について

指定カーストと指定部族の子弟が国公立大学を目指すとき、彼らに与えられる優  
先枠が定められています。国立大学と公立大学では比率は異なりますが、難関校:イ  
ンド工科大学:Indian Institute of Technology (インド全土に 23 校)は入学生の 22.5%  
が指定カースト(15.0%)と指定部族(7.5%)に確保されています。

しかし、過去 5 年間（2015 - 19 年）の平均入学率は、指定カーストと指定部族を合わせ 9 % に過ぎません。このためインド政府は、マイノリティ・コミュニティの小中高校の教育水準を上げる新たな課題に直面しています。只、中央・地方政府、教育機関そして指定カースト・指定部族の努力が実って、入学者が増えつつあるのは喜ばしいことです。尚、公立大学の受入れ枠は国立大学とくらべると少し下がります。

### ● 官公庁の入省試験

官公庁の入省試験でも優先枠が定められています。例えば、外務省の採用はアウト・カースト(指定カーストと指定部族)に 49%の枠が与えられています。採用枠が 100 人であれば 49 人は指定カーストと指定部族に割り当てられます。その結果、インド政府が海外に派遣する大使にはアウト・カースト出身者が多く見られます。

インド外務省 OB から聞いた話ですが、「指定カースト・指定部族の子弟が部下に配置されてきたときは彼らのレベルアップに向けていろいろな配慮を施した」ということでした。又、別の外務省 OB は、「官僚の昇格時、外部者を招き、被評価者の客観的評価に努め、人事の公正を期した、そのために中国・シンガポール等の外務省における人事評価制度を徹底的に調査したことがある」と話されていました。

インドの民主主義の発展度を示す事例です。

### ● 国営企業の採用

パーセンテージは定かではありませんが国営企業・公的機関の採用においても一定の採用枠が確保されています。

インド社会では指定カースト、指定部族の子孫が徐々にではありますが活躍する舞台が広がってきました。ヒन्दゥー教徒の約 15%前後と推定されるアウト・カーストが国公立大学、官公庁の入学・入省で高い優先枠を保障される制度は、**逆差別**であると抗議の声があります。国会議員にもアウト・カーストの枠は認められていますがこちらの方は人口比率に近いため、一般社会の反発は少ないようです。

他方、指定カースト・指定部族の間では社会的地位の向上を実現するため自ら政党を創って中央政界に進出する国会議員が増えています。第 10 代 K.R. ナラヤナン大統領に続き、アウト・カースト(指定カースト・指定部族)出身の首相が誕生する日は近いかもしれません。

とは言え、いかなる国も完べきではありません。インド憲法施行から 70 年が過ぎましたが憲法の前文(Preamble)に謳われた「正義、自由、平等、友愛」がすべての市民に確保されているのか、問題がないわけではありません。差別に対する戦いは今も続いています。

## 最後に:

カースト制度が色濃く残るインドは、近代化に取り残されたイメージが付きまといませんが、インド人は、「世界最古の民主主義国家 アメリカ、世界最大の民主主義国家インド」と民主主義先進国家としての誇りをもっています。

日本人がインドに抱くイメージとインド人が抱くインドのイメージには大きな乖離が見られます。私が日本からインドに赴任して最初に受けた衝撃はインドには「報道の自由、言論の自由」があると感じたことです。勿論、日本にも報道の自由、言論の自由はありますが、インド、アメリカとくらべると残念ながら規制されたものです。

インド政府が取り組んでいる指定カースト・指定部族の社会的地位の向上に向けた施策は日本社会が採用すべき課題として検討に値します。問題は、日本で厳しい差別の対象になっている人たちとはどのような人たちであるかです。あくまで、個人的な意見とお断りした上で私見を述べさせていただきます。

“被差別部落民”がこのカテゴリーに相当するのではないのでしょうか。その数は100万人強と理解します。アイヌもこのカテゴリーに入るでしょう。それと中国系・朝鮮系・ブラジル系、その他外国系市民も差別の対象に入るかもしれません。日本の総人口:125百万人の内、その数は約300万人、人口比で3%程度です。

この他にも差別の対象になっている市民がいると思いますので、差別されている市民の数(インドの指定カースト・指定部族に相当する)は増えるかもしれません。具体的には、インドと同じく、国公立大学の入学枠、官公庁・公的機関・都道府県採用枠の一定割合を彼らに優先的に与えることです。

これらの人たちへの差別の撤廃と社会的地位の向上に日本社会が前向きな行動を起こせば日本社会の長期展望と国際社会における日本のステータスにプラスの影響が出てくると考えます。

完

## 参考文献:

Constitutional Law of India by Durga Das Basu (Prentice Hall)

カーストから現代インドを知るための30章 金基淑著、明石書店

インドの経済発展とカースト制度 國井哲義

Wikipedia

**中国人から見た日本人の言語表現心理(25) 愈彭年 《83歳》**

**言語表現心理(四)**

**語気を和らげる工夫とその心理(1)**

夏目礎石の『草枕』の書き出しは大変有名だ。「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい」。これはイギリス留学し和漢洋の教養のある漱石ならではの洞察であり、たいへん哲理に富んだ名言だ。私はこの書き出しに深い感銘を受ける。そして長らく日本人の言語表現心理を考えてきた私には漱石が描いた日本人像が分かるような気がする。確かに日本は住みにくい。あれこれと気を配らなければならないから気が疲れる。

この書き出しを日本人の言語表現心理を考えてみるとどうなるだろうか。「兎角に人の世は住みにくい」ため、言葉使いにおいて工夫に工夫を重ねなければならないことになる。つまり角が立たないように丸く話すこと、世の中に逆らわず同調して物言いすること、自己を抑制して相手の話に合わせて話すこと。この3項目は日本人の言語表現心理の要点を見事に言い表していると思う。そしてこの3項目の共通するところは世の中においては和を乱さず周りとの協調を図ることだ。

角が立たないように丸く話す工夫はたくさんある。穏やかに、ソフトに、控えめに、人に不愉快な刺激を与えないように話すのも工夫の一つだろう。日本人の会話を聞いて、しきりに耳に入る言葉の一つは「……けれど(けれども・けども・けど)、……」と「……ですが(ますが)、……」がある。

これはある番組審議会の議事録から取った例だが、「ちょっと話は変わりますが、フジの特番をご覧になりましたか」「再放送がその後にあったんですけど、何で再放送があるんだろうと思ったんですけど、そのときもまた見ました。」「特にこのごろ思うんですが、あまりいいことじゃないかもしれませんが、文明が発達していくと古来から受け継いできている精神的なものがどんどん崩壊していくような気がするんですよ」「……一般のほうのわかりやすい観点から紹介の仕方をしていただいていたんですけど、それと比較して今までの起債の残額が幾らありますと大きな額だけぽんと出ていたんですが、……比較をするときにどこまで掘り下げるかなんですけど……」

ここの「けれど・けれども・けども・けど」と「が」は逆接のほうでなく順接の使い方だ。

日本語文法の説明ではただの順接で意味はないというので、中国人にとって理解が難しい。中国人が知りたいのは接続の働きのほかにどんな意味があるかだ。確かに意味はないが、言語表現心理から分析すると、「意味」が出てくる。それは話を穏やかにソフトに控えめにして、語気を和らげて人に不愉快な刺激を与えない「意味」なのだ。

この「意味」のために日本人は会話の中でしきりに使う。穏やかにソフトに控えめに不愉快な刺激を与えないように努めれば努めるほどこの言葉が自然と付いて出てくるメカニズムになっている。付けないと言い切りになり、断言の語気が出てきてしまうので、話は穏やかさやソフトさや控えめさを欠き、ややともすれば人に不愉快な刺激を与えかねない。したがって言い切りを避けたがる日本人はこの言葉を使うことになる。

この言葉の意味は「心理的意味」なので、当然直接に中国語には訳せない。この言葉が中国人の日本語会話では日本人ほど使われないのは言語表現心理に差があるからだろう。日本語を習得しても日本人の言語表現心理が自然と身に着くとは限らないのだ。

ところで、もうだいぶ長くなることだが、かなり多くの日本人は特にこの言葉に力を入れて強く発音するようになった。工夫の動機と全く相反する効果をもたらして、私には全然きれいに聞こえない。昔はそうでなかったのに、これもテレビ文化の影響かと思われる。しかし正規のアナウンサーにはこの現象は見られない。

第三版の岩波国語辞典に次のような説明がある。「『けれど』のあとを表現せず言い差しのままで相手の反応を待つ気持ちを表す。転じて、ものやわらかな表現として使う」。つまり「……けど(けども・けれど・けれども)。」の形になる。これも工夫の一つだろう。

やはりある番組審議会の議事録からの例だが、「その点いかがですか、この番組の基本的なねらいとか、何を表現しようとか、教えていただきたいんですけど。」「……私たちがふだん求める幸せとは違う、別の意味での豊かな幸せがそこにあるというようなこと言いたいのかなという気がしました。私は勝手にそう思ったんですけども。」

「けど・けども・けれど・けれども」を付けないのとは語気がたいへん違う。付けないと断言の語気で強く響き、付けると確かに語気がものやわらかくなる。

\*\*\*\*\*

### 小金井市の散歩事情－その3－

臺 一郎(75歳)

小金井市の散歩事情を語る上で、小金井公園とその周辺における散歩道や遊歩道は、野川沿いの遊歩道、玉川上水沿いの緑道と共に外せない散歩スポットと言えます

る。野川沿いの遊歩道と玉川上水沿いの緑道は、その名前からも想像できるように河川や水路沿いの散歩道や遊歩道だが、小金井公園及びその周辺の散歩道には川も水路もない。

小金井市の散歩事情—その2—にも書いたように、良い散歩道や遊歩道であることの条件の一つは、それは必須条件ではないのだが、道に沿って、或いは道のすぐ脇に川や水路の清流のあることだ。余談だが、京都には前回触れた哲学の道を始めとして、鴨川や高瀬川や白川沿いの散歩道や遊歩道、嵐山の大堰川沿いの歩道など、川や水路の清流に沿った魅力的な散歩道や遊歩道が豊富にあり、それが京都という都市の大きな魅力にもなっている。但し、川や水路沿いの道がなくても、歩いて楽しい散歩道は勿論あるわけで、今回紹介する小金井公園やそこからほど近い浴恩館公園内の散歩道などは、そんな、河川や水路のない散歩スポットである。

小金井公園は小金井市内の北部に位置していて、玉川上水に沿って東西方向に走る五日市街道から 200m ほど北側に広がる東西方向に長い面積 80ha の都立公園である。都が管理運営する公園としては、最も大規模で日比谷公園の約 5 倍の広さをほこり、当然のように大規模地震等の激甚災害発生時の避難先ともなっている。

園内の一画は 1700 本の桜が集団的に植樹されていて、都内でも有数の桜の名所となっている。また武蔵野の雑木林を再現したような樹林地が園内随所に散在し、風揚げやバドミントンなどが楽しめる多目的広場、犬のドッグランが存分に出来る広場、貸し出し自転車でサイクリングが楽しめるサイクルコース、テニスコートや野球場、フィールドアスレチック場、屋内プール等も含む体育館、広大な駐車場等がある。さらに公園の北側の一画には、過去 100 年間に都内各地に建てられていた豪壮な邸宅、戦前のモダン住宅、江戸時代からの農家住宅、東京下町の各種商店建築などの実物が移築展示されている江戸東京たても園(有料)がある。

園内は遊歩道やサイクリングロードが縦横にレイアウトされていて、春から夏にかけての晴れた平日には早朝から夕方まで多くの年配者が散歩やジョギング、サイクリング等を楽しんでいる。この散歩スポットの良い点は、走行する自動車やオートバイと歩行者との動線の混在や交差がないだけでなく、自転車と歩行者さえもが動線を分離しているという点で、高齢者や小さな子供連れの親子が安心して安全に散歩を楽しめる。また景観的にも園内は至る所に専門家による多様で多彩な樹木や花々が効果的に植栽されており、武蔵野の歴史的風景と言って良い雑木林風の景観なども園内各所にあって、変化に富んだ公園景観を造り出している。

雑木林と言えば、明治の文豪である国木田独歩のエッセー「武蔵野」はまさに現在の小金井市、国分寺市、小平市の雑木林や玉川上水沿いの緑道が主な舞台である。前にも触れたが、小金井市や国分寺市の南部に位置する国分寺崖線、通称“はけ崖線”の北側は、はるか埼玉県にまで連なる広大な武蔵野台地がある。この台地上では、江戸時代に玉川上水から分水した水路で新田開発が活発化した。そうした新田開発では、各農家は短辺 40 間(70m)、長辺 375 間(700m弱)といった短冊型の土地を道路や水路に沿って並列する形で与えられ、新たな農地や林地として開墾していった。各農家は細長い短冊型の一方の端に屋敷を建てその周囲を屋敷林で囲み、もう一方の端には通称“ヤマ”と称する雑木林を設け、その間を畑地として開墾したのである。

また国木田独歩の『武蔵野』の下地となった彼の日記『欺かざるの記』には、独歩と彼の恋人信子が甲武鉄道(現中央線)の武蔵境駅と玉川上水の桜橋の間にあったひと気の無い雑木林の中で、飽くことなく接吻また接吻を交わしたとの記述がある。今から何と 120 年も前の明治中期に、この武蔵野の地で、若い文豪とその恋人がそんな大胆で甘く情熱的な時間を過ごしたことに驚くとともに、この地に残る雑木林を散策するとき、静謐な樹林内で抱き合う若い二人の姿に思いを巡らせてしまう。

さて、今日の武蔵野に残る雑木林は、江戸時代に新田開発で入植した農家の屋敷林やヤマ林の残存生態である。雑木林と言うと、なんとなくこの地にずっと昔からあった原生的な自然という印象があるが、実際は人工的に作られた自然景観なのである。江戸時代に玉川上水が完成し、そこからの分水が武蔵野台地を潤して新田開発が活発化するまでは、武蔵野台地は農地も樹林も例外と言って良いほど少なく、野草や雑草ばかりが地を覆う殺風景な土地であったようだ。それは 11 世紀に書かれた更級日記の「武蔵の地は一面の野」という景観記述からも裏付けられる。徳川家康が三河の地から荒れ果てた江戸城に入った 1590 年頃の武蔵の国の景観は、更級日記の時代とさほど変わらぬ雑草の生い茂る一面の野原のままであったと推察される。

公園内の至る所に大小の雑木林風の樹林地がある小金井公園や、いかにも雑木林らしい樹林生態が残る浴恩館公園内の遊歩道は、武蔵野のこうした歴史的背景や文学的な世界を思い起こしながらのんびりと歩くにはまさにうってつけの高齢者向け散歩スポットなので



\*\*\*\*\*

## 国立慕情 (3)

津田 孚人 (83歳)

中学に入学した昭和25年(1950年)4月のころは、朝鮮戦争勃発前で、日本中、みんな貧しく、飢えていた。給食がないので弁当持参で通学、中身は「のり弁」「日の丸弁当」が普通でした。朝鮮戦争が始まり、特需で景気が少し良くなった中学3年の頃になると食糧事情が少し良くなった。午前中の授業の合間に弁当を食べ、昼は、校内出張販売のジューキパンを食べ、下校時には、国立駅近くの「藪そば」で、かけソバを食べて、家に帰って夕食、と一日中食べていたような気がする。家庭にテレビがまだ無い時代で、街頭テレビで力道山とシャープ兄弟のプロレス戦に興奮、ラジオでもっぱらプロ野球、高校野球、大相撲を聞いていた。新聞は、一般紙の外に報知新聞をとっていたので、スポーツ好きだったことは間違いない。塾も家庭教師も無縁で、勉強をしていた記憶が無い。

桐朋は、体力増進に熱心で、春先の全校(中・高)生徒参加の村山貯水池一周マラソン、一年通じて行われた全校生徒による「縄跳び検定」などレベルが高く、全国的にみても珍しい学校だった。部活動も、器械体操部が都内で常に上位、全国大会に毎年選手をおくりこんでいた。ヘルシンキ五輪に選手として参加した金子明友先生が、現役選手として生徒といつも一緒に練習しているのを、バスケットの練習をしながら横目で見ている。一年先輩だった渡辺二良さんは、体が柔らかくて技が上手く、将来、凄い選手になると練習を見ていていつも感じていた。

バスケ部は、中学、高校とも指導者不在で生徒だけの練習となり弱かった。練習試合で成蹊中と数度対戦、佐々木と言う好選手がいたのを、今年の春先に日経新聞の「私の履歴書」に歌人の佐々木幸綱が登場、成蹊中学時代のバスケ姿の写真が載っていたのを見て、突然思い出した。スピードがあり、スマートな動きの選手だった。

公式戦でのめぼしい記録は、高2の時にコーチをしていた中学チームが、春先に行われた東京都の大会で3位に入ったぐらいしかない。この時は、森田、山崎、橋詰、田村など3年生が中心で、それぞれ個人力があった。山崎、橋詰は、中央大に進学、バスケを続けたが、山崎は、卒業後間もなく、年末帰省中に東名で自動車事故にあい急死した。実家は吉祥寺駅前の「三浦屋」、同じ吉祥寺商店街の出身のうえ次兄が同級生だったので、よく知っていた。面倒見の良い明るく素直な性格の持ち主で、小柄だがすばしっこくゴムまりのような弾力ある体をもった選手だった。彼がいれば、桐朋のバスケも違った道を辿ったにちがいない。葬儀に出られず、悔いが今なお残る。

、運動面だけでなく、渡辺紳一郎の講演会、諏訪根自子(あるいは辻久子)の演奏会など、一流著名人を招いての情操教育が、毎年、木造の大講堂(千人収容)で行わ



れた。バイオリンの演奏前、ざわつく生徒たちに対して、一瞥を加えてぴたっと静かにさせ、演奏し始めた奏者、一流は違うと思知らされたのを覚えている。

学校の雰囲気は、制服はなく、規則、規律などにはうるさくない自由な校風だった。中央線の荻窪から自転車で通学するものもいた。入学時250名いた生徒のうち、高校進学時に50名ほどが有名校、進学校に進んで抜け、新たに50名新入生がいたが、そのまま桐朋高校に進んだ連中は概して、おっとり、のんびりしていた(?)。高校一年時、大学出たばかりの新任の男性英語教師が、初めての授業で立ち往生、教科書をもったまま黒板を向いて、最後まで殆ど無言で立ったままの時でも、生徒も無言でじっとして騒がず、自習していた、というようなこともあった。

教師陣は若くて意欲的、高校1年時の期末試験は、先生は退室して無監督、高校2年生時には、学力テストの成績順に5クラスに分けるとい、かなり大胆なことが行われた。3年までクラスはそのまま。この評価は、卒業した後、聞いていないのでわからない。大学進学の間では成功したものの、卒業後、生徒間にわだかまりが残り、個人的には問題あり、という感じだった。

40年ほど後に、神戸市の給湯器メーカー(株)ノーリツに出向した時に、高2の時の担任だった田村先生が中央研究所の顧問をしておられお目にかかった。会社創業時の功労者として社内では有名だったが、高校時代は化学の先生、文系志望だったので個人的な接触がなく、結局、挨拶を一度しただけで終わってしまった。成績順のクラス分けは、担任と生徒の関係を希薄にしたように感じる。

高校を昭和31年に卒業し、浪人生活を一年した。大学受験は一橋大のみで、現役入学は無理と諦めていた。クラスでは一橋の現役合格は2人のみ、大半が落ちた。予備校は高田馬場にあった一橋学院。院長が一橋出身で、一橋大学進学希望者専用の予備校のようだった。

ここでは、模擬テストの結果が、毎回大相撲の番付表スタイルで発表され、横綱、大関などは常連が多かった。桐朋中学時代クラスと一緒に、高校は都立豊多摩へ進学した増井健一郎君の名前がいつも出ていたが、増井君とは、大学へ入学するとクラスと一緒に、さらに彼が入社したアサヒビールが、日比谷の第一生命ビルに一時入居するという時があり、そこでもまた出会うという不思議な縁があった。同じく上位の常連だった秋田高校出身の柳原君、大学のバスケット部では1年後輩になっていたが、お互いあまり気にはならなかつが不思議だった、。

大学受験は、一橋のみ、他の大学は全く受験しなかった。中・高と6年間通った国立、地元の感覚で安心感があり、当たり前のように受験した。交通の時間、昼の食事、トイレの場所など、大学内を知悉していたので安心だった。

一浪して入学、一橋学院出身者が大勢いたが、桐朋の同期・同クラスからは、8名合格、現役、二浪を合わせると、全国でもトップクラスの合格者数となった、東大、東工大への入学者も同様に増えたので、進学校として注目されるようになった。

当時の桐朋学園は、京王線仙川駅にある桐朋学園女子高等学校に併設された音楽科(小生等が中3の頃創設)が全国的に有名で、高2の時の修学旅行で、京都で音楽の桐朋と間違われ、「歌は・・・」「楽器は・・・」と他学校の生徒に質問されて、仲間数人で苦笑したのを思い出します。2016年11月に、ALL桐朋同窓会があったが、桐朋学園大学ができて音楽、演劇部門が膨らみ、国立の普通校・桐朋の存在感がすっかり小さくなっていました。

大学へ入学したものの、将来の希望など定かなものがなく、授業はまじめに出て、終わるとバスケットの練習、バイトは家庭教師という毎日でした。後期課程のゼミは、後に学長になる小泉明教授の金融論ゼミ、運動部所属者が多く、知的な面での切磋琢磨はなかった(と思っている)。教授は、昭和12年に大学卒業後、第一生命に数年勤務、そののちに大学へ戻られて学究の道に入られた。就職時それを知らず、バスケット部の先輩が第一生命の人事にいて入社できたが、内定を報告に行った時に、事前に相談しなかったと不快な顔をされた。その故か、卒論の成績が厳しかった。

現在、83歳、小学校から始まって、中・高・大の学生時代、そして社会人と、いろいろな経験をしました。話はまだまだつづきますのでご容赦のほどを。

\*\*\*\*\*

## 事務局

\*\*\*\*\*

<投稿>を歓迎します

天地シニアネットワーク・テーブル・520号

発行:2021年6月16日

天地シニアネットワーク事務局 (津田 孚人)

〒116-0001 荒川区町屋3-2-1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス: [tentisenior06@gmail.com](mailto:tentisenior06@gmail.com)

電話・FAX 03-3819-7651